

Week of November 19 - Children of Light Small Group Lesson 16

知り合う

イエス様は地上におられた間、多くの時間を罪人と過ごされました。
信者も、そのように時を過ごすべきなのでしょうか？(エペソ5:7-12参照)

私たちは、誰と過ごすべきかをどのように選ぶべきでしょうか？

聖句 – エペソ人への手紙 5:6-14 (聖書協会共同訳)

6 空しい言葉にだまされてはなりません。これらの行いのゆえに、神の怒りは不従順の子らに下るのです。7 ですから、彼らの仲間になってはなりません。8 あなたがたは、以前は闇でしたが、今は主にあって光となっています。光の子として歩みなさい。9 ―― 光の結ぶ実は、あらゆる善と義と真理との内にあるからです。―― 10 主に喜ばれるものが何かを吟味しなさい。11 実りのない闇の業に加わらず、むしろそれを明るみに出しなさい。12 彼らがひそかに行っていることは、口にするのも恥ずかしいことなのです。13 しかし、すべてのものは光によって明るみに出されて、明らかにされます。14 明らかにされるものはみな、光だからです。それゆえ、こう言われています。／「眠っている者よ、起きよ。／死者の中から立ち上がれ。／そうすれば、キリストがあなたを照らされる。」(聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会 Japan Bible Society, Tokyo 2018)

学び

1. パウロはこのように述べています（6節）。「神の怒りは不従順の子らに下るのです。」パウロはどのようなことを指しているのでしょうか？(エペソ5:3-5を復習しましょう。）「不従順な子ら」とは誰ですか？神の怒りはいつ、どのように彼らの上に下るのでしょうか？

2. クリスチャンはどのような「空しい言葉」にだまされるのでしょうか。(6節、7節)

3. クリスチャンは、主に喜ばれるものが何かを、どのように吟味すればよいのでしょうか。（8-10節）

4. クリスチャンは、そのような（実を結ばない、恥ずべき、言及できない）闇の業を、どのように明るみに出すのでしょうか？(11-12節）11節で求められている罪の暴露の目的は何ですか？

適応

クリスチャンが罪深い行動に加わることを避けることは、明らかにパウロの願いであり、期待でした。しかし、パウロはクリスチャンが罪深い人々を完全に避けることを期待していたのでしょうか？光の中を歩むことによって、罪の中に死んでいる人々に救いの光をもたらすというクリスチャンの役割について、パウロは何を言おうとしているのでしょうか？そうすることに、どのような危険が潜んでいますか？

ディスカッション

クリスチャン達は、聖書が特定の事柄について述べていることをどのように読み、理解するかを含め、すべてのことについて常に意見が一致するわけではありません。何が主に喜ばれることなのかについて、クリスチャンの兄弟姉妹の間に正直な意見の相違があるとき、そのような状況はどのように扱われるべきでしょうか？そこから私たちは、どのように霊的に成長できますか？

シェア

クリスチャンになってから、あなたは誰かに「空しい言葉にだまされ」、罪深い活動に加わるよう説得されたことがありますか？よければ、あなたの体験談をグループで分かち合ってください。

成長

どうか神が、罪深い活動に誘う人々の空しい言葉から私たちを守ってくださいますように。その代わりに、神がキリストの十字架に照らし合わせて、何が神に喜ばれることなのかを私たちに示してくださり、私たちを罪から遠ざけ、私たちを通してキリストの光を世に照らし、迷える人々が救われますように祈りましょう。